

各位

春暖の候、平素は児童館事業にご理解ご協力頂き、誠にありがとうございます。

コロナ禍ではございますが、嵯峨野児童館は今年度二〇周年を迎えます。

この嵯峨野でお仕事をさせて頂いて早二十年：：月日の経つのは早いものです。

初代館長から受け継いで、こんな未熟な私に務まるのかと、何もわからないまま重責に耐えながらも、何とかここまでこれましたのも、地域の方々のお力と支えによるものだと心より感謝申し上げます。

気持は当初と変わらずありますが、文字が見にくい、聞こえにくいと寄る年彼には勝てません(笑)が、気持ちだけは若く、元気に居られるのは、やはりエネルギーいっぱいの子ども達と毎日過ごしているからでしょう。

自分自身の役割も少しずつ変化してきます、課題も見えてきました。

そろそろ引退の時期ではございますが、カウントダウンをしながら、次の方に良い形でバトンタッチできるように、整えていくのが次の私の仕事だと思っております。

コロナの終息が見えない今、交流事業も今までと同じにはいきませんが、人は人との関わりで、成長し頑張ろうと思えます。

児童館の事業は、今までと同じには出来ないですが、形を変えて、コロナ予防をして、地域の皆さんと二十年間のお礼として、何か形にしていければと思っております。

集まれなくても、身近に人を感じていける、励ましてくれるようだと思える事業が出来ないかと今、考えています。

これは、皆さんにご協力を頂かなくては始まりません。

嵯峨野児童館はやはり、これからも、地域の皆さんと一緒に成長していきたく思っています。

職員一同明るく元気に頑張つてまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和三年 四月号のおたよりに添えて

社会福祉法人 積慶園

京都市嵯峨野児童館

館長 飯吉昌子